



令和5年度 校長だより

令和6年3月22日(金)

# 春日の風Ⅱ

No.10

文責 松下 義彦

## 修了式にあたり

みなさん、おはようございます。

3年生が卒業して、1・2年生だけの学校生活が始まり約2週間が経ちます。3年生がいない学校生活には慣れたでしょうか。今まで、君たちをいろいろな面で引っ張ってくれていた先輩方がいなくなり、さみしい気持ちもありますが、これからはあなたたちが、この春日中学校の新たな歴史を作っていくメンバーだという自覚をもって、これからの学校生活を送ってください。

さて、先ほど1年生・2年生のそれぞれの代表に「全課程を修了したことを証する」という修了証を渡しました。この修了証は、皆さんが1年生・2年生で学習する全てのことを身につけて、次の学年に進むことを認めるものです。これから次のステップに向けて自分の決めた目標に向かって進んで欲しいと思います。

みなさんは、この一年間を振り返ってみてどうだったでしょうか。年度当初に立てた目標は達成できたでしょうか。みなさんは、多くの可能性を秘めています。そして、努力によって未来への可能性はどこまでも広げることができます。決してその可能性には、限界がありません。だから、いろんな可能性に挑戦してくれる春日中生であって欲しいと校長先生は常々思っています。

きのう おととい、韓国でMLBの開幕戦が行われました。みなさんも知っている世界的有名な野球選手である大谷選手がいるドジャースとダルビッシュ選手がいるパドレスのメジャーリーグの開幕戦です。みなさんの中にもテレビで観戦した人も多いと思いますが、その大谷選手がアメリカに行く前に日本ハムファイターズにいたことはみなさん知っていますよね。

その大谷選手が日本ハムファイターズ時代に、アメリカに渡ってMLBに挑戦したいと当時の栗山監督に言いました。栗山監督は「俺に説明してくれ。なんでアメリカに行かなきゃいけないんだ」と聞いたそうです。その時に大谷選手は次のように言ったそうです。

### 「成功するとか失敗するとか僕には関係ない。それをやってみる事の方が大事」

だと

どうでしょう。校長先生もそうですが、私たちは何かに挑戦するとき失敗を恐れ、尻込みをすることがあります。でも、大谷選手は失敗を怖れず、とにかくまずチャレンジすることの大切さを言っているのです。当然、チャレンジして成功するためにたくさんの努力をされていることだとは思いますが。

自分の夢を叶えるためには失敗を怖れてはいけません。まずはチャレンジしないことには先には進めないのです。ぜひ、みなさんも自分の夢をもち、失敗を怖れずチャレンジする気持ちをもってください。

さて、話は変わりますが1年生・2年生はそれぞれ学年が上がります。

そして、あと2週間ちょっとで新1年生が入学してきます。新2年生は、後輩に教えたり、手助けする立場になります。自分のことだけでなく、周りのことを気遣い、考えて行動できる人になってください。

新3年生は、最上級生です。生徒会のスローガンである「想う～一人一人がお互いを大切に、どんなことでも全力でやり遂げる学校～」を実際に行動にあらわせる春日中生になって欲しいと思います。もちろん、下級生を引っ張っていくことができる上級生になることも期待しています。

これからもみなさんが素晴らしい春日中学校を築いてくれることを願っています。

